

多数の参加者、裸婦デッサン会

北支部 波澄 忠行

年間行事の裸婦デッサン会は7月30日と31日の2日間、石神コミセンで行われた。日本列島、このところ毎日気まぐれのお天気続きであったが、当日は、皆さんの年一回の楽しみに気候も同情したのか、初日は37名、2日目は45名参加されて、汗をかく事もなく、それぞれ油彩、水彩、木炭画等に集中できたのではないかと思います。

また、モデルさんは茨城育ちで、構図については理事長との話し合いで、今迄とは変化させようとのことであった。モデルさんもポーズを進んで取っていただいた。でも会員の中にはとまどいとか不満もあったと思いますが勉強なので…。2日間ご協力ありがとうございました。

最後に今回の作品を仕上げ、秋の文化祭にはたくさんさんの作品が展示されることを期待しております。



休憩時間も休んでなんておられない？(石神コミセン)



夏休み子供作品教室に参加して

事務局 塙 千恵子



アドバイスする柴田会員

8月5日中丸コミセンで、文化協会主催による「夏休み子供作品教室」が開かれた。

小学生が32名参加し、美術連盟からは指導、アドバイスに9名があたった。

1テーブルに児童4人と指導者1人がつき、午前10時から11時30分まで、学校から出された課題作品や公募作品などに子供たちが熱心に取り組んだ。

毎年、低学年に人気なのがトンボメーカーによる「We Love トンボ絵画コンクール」。中・高学年生は標語などのポスター制作が多く見られた。

低学年生に長時間集中させるにはどうしたら良いか、また高学年生のポスター制作などは、文字を書くだけでも長い時間が費やされるので、いつも途中で完成していない。高学年生にはもう少し、時間延長があっても良いのではなど、指導者の意見もあった。



仲田 和子さんに

Tea タイム

● 本格的な絵はいつごろ、どういうきっかけで描かれましたか？

△ 水戸市南町の相馬画廊で、高校の美術の先生の個展を観に行き、あこがれました。

子育てが終わる頃、村松の鏡木教室へ自転車で、通いました。本当に基礎を勉強させていただきました。その後、友人に誘われ、故海洋画家の亀山先生の教室「四季」へ通いはじめて20数年……。

● おうちではどういう場所で描いていますか？

△ 6畳の和室に敷物を敷いて、居間兼アトリエのように使っています。

● 1日のうち制作にかける時間は？いつしますか？

△ 描く日時を決めたら、早めに諸用事を済ませ、午前と午後には筆をとります。しかし、最近は思うようにいきません。

● 絵を描く以外に最近していることはなんですか？

△ 美術連盟の方に声をかけていただき、3B 体操教室へ通っています。リズムに乗って身体を動かすことのすばらしさを実感しています。

3B 体操のひとつ
ボールを使って腕の筋肉を引き締める

仲田さん→



文化祭美術連盟企画

「東海村どごだわがっけ展」制作者決定！

今年は展示部門の文化祭が11月4日(3日搬入)から11月6日に開かれます。「東海村どごだわがっけ展」の出品者が決まりましたのでお知らせします。傑作を期待しています。

(東支部) 阿部 勉・大内正房・吉田チエ子 (西支部) 加藤木 賢・埴 千恵子

(南支部) 堀川豊彦・永山昭子 (北支部) 門前由弘・郡司富枝 (仲支部) 佐藤政一 以上10名



Infomation

神永マサ子展 (PART 10)
創造美術会茨城支部小品展
21世紀新美会メンバーズ展
日立市美術展覧会
画塾プラネット展
茨城県芸術祭美術展覧会
創造美術会茨城支部展
波澄忠行絵画展
東海村文化祭2011
三帆会茨城支部展
東海村郷土作家紹介シリーズⅦ(財団企画)

9月4日～9月10日 (東海ステーションギャラリー A)
9月6日～9月12日 (ギャラリーサザ)
9月13日～9月18日 (茨城県民文化センター)
9月17日～9月25日 (日立シビック&マープル)
10月2日～10月8日 (東海ステーションギャラリー A)
10月8日～10月23日 (県近代美術館)
10月16日～10月22日 (東海ステーションギャラリー A)
10月30日～11月5日 (東海ステーションギャラリー A)
11月4日～11月6日 (体育館)
11月6日～11月12日 (東海ステーションギャラリー A)
11月13日～11月26日 (東海ステーションギャラリー A)

【神永】
【鴨志田強 G】
【仲田 G】
【公募】
【門前教室】
【公募】
【鴨志田強 G】
【波澄】
【各連盟ほか】
【高田ほか】
【荒木・埴ほか】

皆様の善意を被災地に

東海村芸術祭副実行委員長 加藤木 賢

今年は未曾有の大震災のため、例年開催してきた芸術祭に代わり、「東海村芸術祭東日本大震災チャリティ特別展&茶会」として開催することにしました。

例年参加している7団体が東海ステーションギャラリーにおいて、1週間にわたり1,2階同時に開催するもので、会場の割り振りや対応の仕方など初めてのことばかりでした。

美術連盟は水墨画と一緒に1階での展示となり、会場には、美術連盟会員の外に山崎先生の作品も加わり、また華道連盟の生け花で彩りを添えられ華やかな展示会となりました。最終日にはお茶会も加わり、多くの来場者で会場がいっぱいになりました。受付に設置しました義援金箱には連日沢山の募金が集まりました。これらの義援金は、社会福祉協議会をとおして被災地に届けられます。ご協力頂きました皆様の善意に深く感謝します。

芸術祭チャリティ展に当たって

東海美術連盟理事長 高橋 忠治

このたびは東日本大震災に見舞われ、東北地方に限らず、会員の皆様の中にも少なからず被災されたことを伺っております。心よりお見舞い申し上げます。

この災害を、ニュース等で目の当たりにし、芸術家及び美術愛好家として芸術を通し、何かせずにいられない気運が多くの皆様にあり、今回の芸術祭チャリティ展となりました。

開催に当たっては、条例や諸々の紆余曲折があり、実行委員会や会員の皆様にも運用面で多大なお骨折りを頂き、深謝申し上げます。

会員多くの皆様から善意の出品を戴き、予想以上の入場者と義援額になりました事をご報告申し上げ、御礼といたします。

予想を上回る入場者数と募金額

ステーションギャラリー 1F 入場者数

初日	122名
最終日	246名
総数	802名

1F 受付での募金額	190,774円
美術連盟義援金	147,100円

7団体の総額は	579,174円
---------	----------



飾りつけと打ち合わせをする会員



最終日はお茶会も開かれて